タギゾウくんと
高田祭
たかだまつり

さく：養老町教育委員会　中島 和哉
え　：山本 彩乃

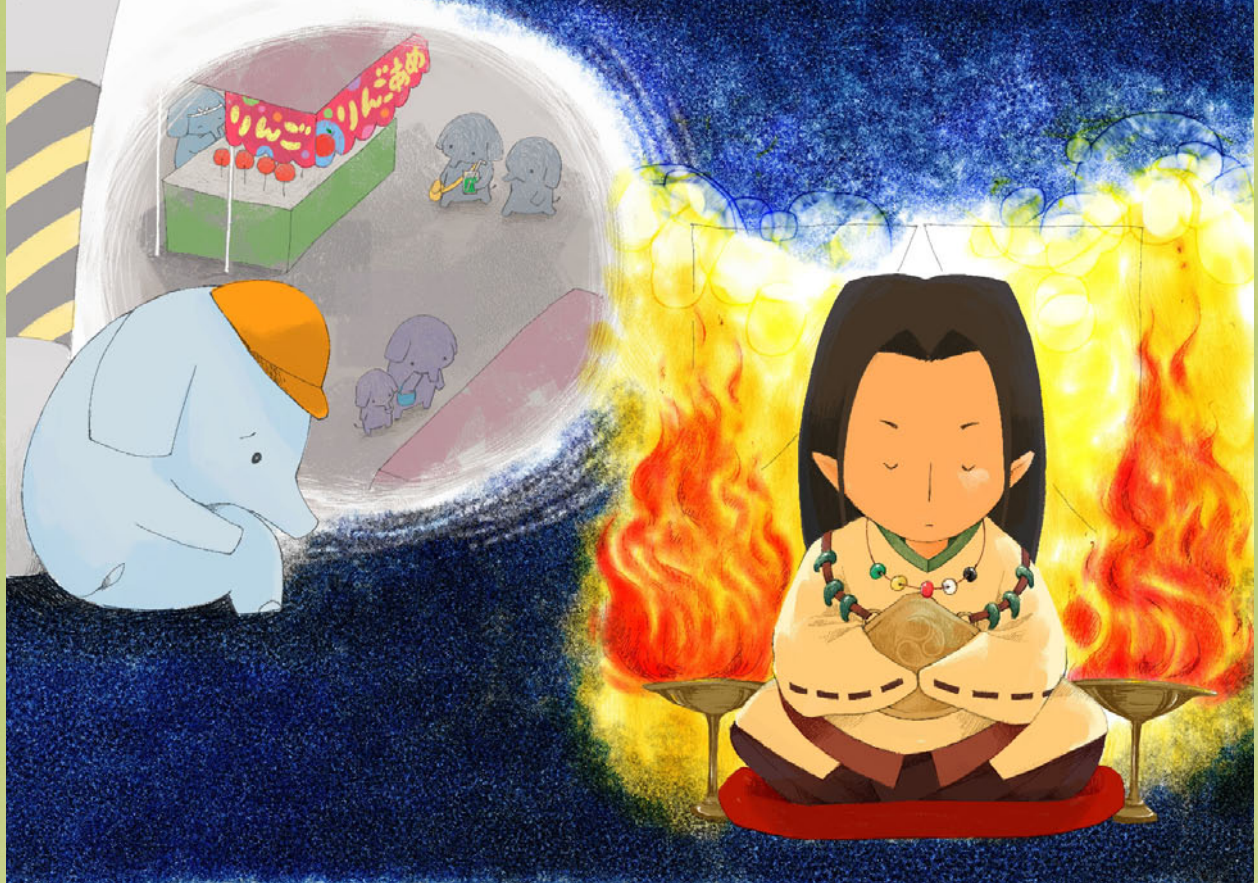
タギゾウくんはタギの国の王様です。

毎日いろんな場所をおとずれて、みんなの様子を見守っています。

ある朝、タギゾウくんは、友達のタカちゃんに会いに、高田の町へ行きました。

しかし、タカちゃんは元気がありません。

「どうしたの？」 タギゾウくんは聞いてみました。



高田の町には、「火の神様」がいて町を守ってくれているんだけど、
最近、この神様のお祭りに、あんまり人が来てくれないんだ。このままじゃ、きっと神様は、ぼくたちの町を嫌いになっちゃうよ…

「それは、大変だね。」 ふたりは一生懸命考えましたが、ちっともいい考えが浮かびません。
困りはてたタギゾウくんは、象鼻山のてっぺんにいる女神さまに会いに行くことにしました。
女神さまは何でも知っていて、いつもみんなを助けてくれるのです。

すると、女神さまはこう言いました。
「神様のためだけにお祭りをするのではなく、来た人みんなが楽しめるようにするといいでしょう」
その夜、タギゾウくんはにぎやかなお祭りの夢を見ました。
「そうだ！いい方法を思いついた。女神さま、ありがとう」

次の朝、タギゾウくんはタカちゃんに、自分の考えを話しました。

「すごく大きな舞台を作って、踊りや人形劇を、みんなにも見てもらおうよ。」

ふたりは、さっそく海や山で舞台の材料を集めました。

舞台が完成するまで、何日もかかりました。舞台は、金や貝殻できらきらと輝き、色とりどりの幕で飾られています。人形はみんなに見えるよう、高いところに置き、車輪もつけました。
「やったねタカちゃん。神様も、町のみんなも、きっと喜ぶよ」
二人はこの舞台を、「やま」と呼ぶことにしました。

町に戻ると、お祭りの準備が始まっていました。

みんなは、空を見上げるほどの大きなやまを見て、びっくり。

「高田の町は、道がとっても狭いよ。大きすぎないかい？それに、向きは変えられるの？」

「大丈夫だよ、見てて」ふたりはニッコリ笑うと、舞台をぐるぐると回してみせました。

「ほら、これならみんな楽しめるでしょう。」

高田の町の人たちは、手をたたいて喜びました。

そして、春の高田祭りが始まりました。

火の神様は、豪華な「やま」と人形劇を見て、大喜び。

ぐるぐる回る「やま」を一目見ようと、たくさんの人がお祭りに集まりました。

噂はどんどん広がって、となりの町からも人が来ました。

火の神様のところにも、たくさんの人があいさつにおとずれ、神様も、みんなも、高田の町がもっと好きになりました。

お祭りは大成功！！にぎやかな笑い声と祭り囃子が、夜遅くまで響いていました。

保護者の皆様へ

解説『高田祭』

この絵本の題材となった高田祭は、愛宕神社の火産霊神を祀るもので、養老町で最もにぎやかなお祭りです。250 年以上の歴史をもち、江戸時代から続いています。
しかし、近年は人手不足や後継者育成などの課題を抱え、祭の存続が危ぶまれるようになってきました。

こうした状況の中、高田祭のことをもっとよく知って頂きたいと考え、この絵本を作成しました。祭りを盛り上げる３輌の曳軸はとても立派な造りで、上屋は 360° 回転します。また、各曳軸による獅子舞や、からくり人形もオススメです。

ぜひ、５月第３週の週末には、タギゾウくんやタカちゃんが守ろうとした高田祭を見にきてください。

岐阜県養老町の歴史文化資源：http://tagizou.com/
高田祭の解説：http://tagizou.com/main/takada/

スケジュール

◉毎年５月第３週目の週末

試楽（土）	8時 飾り付け、15時 曳出し 17時 曳寄せ、19時 ライトアップ
本楽（日）	10時 愛宕神社奉芸、11時 神幸の儀 13時半 曳出し奉芸 20時　還幸の儀・夜軸曳出し

アクセス

車	名神高速道路 大垣インターより約 20 分 養老町役場の駐車場が利用できます。
電車	養老鉄道美濃高田駅から徒歩約 10 分

MAP

詳しい地図は
【こちら】
(google map)

おしまい